

Title	図書館に関わる思い出
Author(s)	膳, 貴太
Citation	ぱびるす : 聖学院大学図書館報 / 聖学院大学総合図書館, 第 60 号, 2015
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=5372
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

図書館に関わる 思い出



111J051 膳 貴太

私は大学2年の初めくらいから3階カウンターのスタッフ（ライブラリーアシスタント）を始めました。図書館が好きだからとか、本に囲まれている環境が好きだからとか、そういった理由でなくただ単に気まぐれで始めたのがきっかけだったと思います。ここでは学生とのやり取りが多くあり、よく利用される学生の顔を自然と覚えることが多くありました。声を掛けたりなどはさすがにできませんが、「あ、今日もこの学生来てるな」や「レポートとか忙しいのかな」などと考えながら対応をしていました。しかし、今思えばきっとこれは一つの出会いのきっかけだったのだと思います。

その図書館でよく見かけていた学生と委員会や別の活動で一緒になる機会があり、相手から「図書館のスタッフさんですよ？」と声を掛けてもらったことがありました。私にとって非常に驚きでした。メンバーは日や時間によって変わるのに自分の顔を覚えていてくれたのですから。そのようなことがあってからその学生と話したり、一緒に遊んだりするような関係となりました。気まぐれで始めたものが私にとってかけがえのないものを与えてくれたのです。

この経験は私の図書館の価値観を覆しました。図書館は本などの貸し借りだけでなく、「人との出会いのきっかけの場」でもあると感じることができました。

これから入学する新入生の皆さん、大学では授業によっては多くの課題やレポートを課すものがあり、それらを書き上げるには参考文献等が必要となってきます。そのような時はぜひ図書館を利用してください。もし何かわからないことがあればライブラリーアシスタントや職員の方にお声がけください。

図書館が皆さんにとって大学生活の中の出会いの場の一つとなることを心から願っています。

（日本文化学科4年）